

(日本語訳)

アジア女子大学(AUW)メアリー・J・サンサローンを副総長に任命

マサチューセッツ州ケンブリッジ、2011年6月8日会長ジャック・メイヤー氏より発表。「アジア女子大学協力財団の役員会を代表しまして、アジア女子大学副総長および最高責任者にメアリー・J・サンサローンが任命されたことを嬉しくお伝えします。メアリーは輝かしい功績を持つ教育者であり、これからAUWに様々なビジョン、思いやり、そして見習うべくリーダーシップを提供してくれるでしょう。メアリーは2010年6月1日に学部長およびチーフ・アカデミック・オフィサーに任命されました。それからわずか1年、彼女はその能力と信念でAUWを人々の人生にインスピレーションを与え、将来のリーダーを育む模範的学術機関に育て上げることができる人物であることを証明しました。

AUWはバングラディッシュ・チッタゴンに所在する全寮制の教養大学であり、いずれ世界市民となる学生を育てています。大学ではハイレベルな教養課程を提供しており、卒業する学生は文学士号もしくは理学士号を手に入れています。AUWの学生は東南および南アジアの国々の学生であり、そのほとんどがAUW入学前に予備校であるアクセス・アカデミーで11か月間、英語や数学で学習レベルを向上し、世界史や地理などの科目を通じて世界観を広げ、芸術で創造性を育み、さらに空手などの科目を通じて自信や体力を磨き上げていきます。AUWの組織的アイデンティティは広範囲に及ぶ憲章に表れています。同憲章は2006年に議会で可決され、これによってAUWは組織的自治権を得て勉学に関する完全なる自由を保障し無差別の原理を掲げることができました。AUWの第一期生は2013年に卒業します。

メアリー・サンサローンはシンシナティ大学で文学とエンジニアリングを学び、最優秀の成績で土木工学の学位を取得して卒業しました。また、修士および博士号をコーネル大学から取得、ハーバード大学ケネディ行政大学院から行政の修士号も取得しています。1987年、メアリーはコーネル大学の工学課の教員となり、同学部では史上二番目となる終身在籍権を取得したのちに正教授になりました。コーネルでは土木環境工学科の副学科長および同大学のアカデミックプログラムの学部長として活躍しました。その後、セントルイスにあるワシントン大学、工学応用化学科の学科長も務めました。

メアリーは学生への献身の深さで知られています。彼女は優秀なアカデミックプログラムを構想、開発、実行する能力に長けており、誰もが尊敬し称賛するスタンダードを確立してきました。1992年、メアリーはカーネギー財団の教育発展支援評議会(CASE)の米年間最優秀教授に選ばれました。その際「学生の人生やキャリア、そして社会の知的繁栄への多大なる貢献」が称えられました。1993年、コーネル大学は「学

生への有効かつ感動的で優れた教育および教育全般への貢献」を称え、彼女をワイス・プレジデンシャル・フェローに選びました。

メアリーは有界個体の過渡的応答反応、パターン認識、および材料のひびや傷の検知技術の開発、そして材料や構造物の評価を主に研究しています。これまで、彼女は大学院生とともに Impact-Echo という手法と機器の発明および完成に成功しています。この手法はコンクリートやレンガ造りの構造物（高速道路、建造物、橋、ダム、トンネルなど）の非破壊評価を可能にします。Impact-Echo 機器は現在、北米、アジアおよびヨーロッパで製造されており、世界中のコンクリート・レンガ造りの構造物の非破壊テストに用いられています。2002 年、米国科学振興協会は彼女をフェローと認定し「世界中の公共インフラの評価を可能にする Impact-Echo 手法および機器の開発および大学生教育への多大なる貢献」が称えられました。

AUW 創設者カマール・アマードは直ちに副学長から退任し、2011 年 9 月 30 日付でアジア女子大学協力財団のプレジデント・CEO から退任することも発表しました。カマールは先見性のある創設者としてこれまで最高レベルの教育実現に全力を傾けてきました。この 10 年近く、彼は大学の発足に専念し、現在のレベルまで大学を育て上げてくれました。カマールの次なる冒険はまだ発表されておりませんが新たな挑戦でもこれまでの献身的精神は衰えることなく、その地域の発展にさらなる成長をもたらしてくれると信じています。AUW コミュニティを代表してこの場を借りてカマールのこれまでの功績に大いなる感謝と敬意を払うとともに今後の更なる活躍を心待ちにしております。